

2024年3月19日

各位

オンコセラピー・サイエンス株式会社
代表取締役社長 嶋田 順一
(コード番号 4564 東証グロース)
(問い合わせ先) 管理本部統括取締役 朴 在賢
電話番号 044 - 201 - 6429

新規化合物に関する研究進捗のお知らせ

当社は、2022年10月31日付「新規化合物に関する研究着手のお知らせ」でお知らせしたとおり、臓器線維症に関する新規化合物の創薬研究を行っております。臓器線維症の新しい作用機序の報告論文によって治療標的として有望な可能性があると考えられたリン酸化酵素（キナーゼ）について、当社化合物ライブラリに本キナーゼを強く阻害する化合物が複数存在することが判明しております。その後、2023年5月15日付「新規化合物に関する研究進捗のお知らせ」のとおり、培養細胞を用いた薬効評価において、当社の複数の化合物が当該論文と同様に臓器線維症の発症機序を阻害することの確認がとれました。

今年度内にモデル動物を用いた薬効評価（以下、「本薬効評価」といいます。）の結果が判明する予定としておりましたが、本薬効評価の準備として実施している予備動物試験において、本薬効評価に使用する線維症モデル動物の作製及びその条件確認に当初の予定より時間を要することが判明しました。現在、モデル動物作製条件の再確認を実施しており、確認が終わり次第モデル動物を作製し、本薬効評価を進めて参りますため、現時点における本薬効評価の結果判明時期は未定です。研究進捗の状況につきましては、開示可能な事象が発生し次第、随時公表いたします。

本薬効評価で薬効が確認できた場合、非臨床・臨床試験に向け、さらに化合物の選定を行うこととなりますが、当初よりお知らせしておりました通り、当社は臓器線維症については開発ノウハウを持たないことから、本化合物については、自社での単独開発は検討しておらず、ライセンスアウトを目標としております。

なお、本創薬研究では、2023年8月4日付「新規化合物に関する共同研究契約締結のお知らせ」でお知らせしましたように、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（所在地 大阪府茨木市、以下「NIBIOHN（ニビオン）」）との共同研究を実施しております。自社での研究に加えて、NIBIOHNによる独自の技術及びノウハウに基づく線維化誘発評価方法を用いた解析も進行中であり、これらの研究から新規化合物について精度の高い成果を得ることでその価値を高め、治療方法の少ない本疾病患者さんに治療薬の提供を通じて貢献することを引き続き目指します。

本件による2024年3月期当社業績への影響は軽微であります。

以上